

— 特別企画 —

認知症を理解する

教育講演

「認知症の早期診断から予防まで」

講師

鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座

うら かみ かつ や

環境保健学分野 教授 **浦上 克哉 先生**



岡山市生まれ。1983年鳥取大学医学部卒業後、神経内科を専門に携わり2001年より鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座・環境保健学分野 教授を務める。

日本認知症予防学会理事長、日本老年精神医学会理事、日本認知症学会専門医。アルツハイマー型認知症および関連疾患を専門とし、診断マーカーの開発研究、外来での診察と治療、予防、ケアなど総合的に認知症と取り組む。

また、認知症早期発見のためのタッチパネル式コンピューター「物忘れ相談プログラム」などの機器の開発、アラームによる認知症の予防効果の研究、NHK「あさイチ」や「チョイス」、「たけしの家庭の医学」、「主治医が見つかる診療所」等テレビにも多数出演し、幅広く精力的に啓発活動を行っている。

司会

森 脇 郁 生 (島根県済生会江津総合病院)
第12回中四国放射線医療技術フォーラム大会長

河 本 ちひろ
大田市立病院 診療技術部 画像診断科

講演1

家族の立場から

「若年性アルツハイマーの母と生きる」

講師

フリーアナウンサー **岩佐 まり 先生**



1983年大阪生まれ。フリーアナウンサーとしてケーブルテレビのキャスターやレポーター、ネットチャンネルの司会などを務める。2003年に55歳の若さで「若年性アルツハイマー」を患った母を、2013年より働きながら一人で介護している。2009年より介護の様子や気持ちを綴ったブログ「若年性アルツハイマーの母と生きる」を開始し、同様に介護で苦しむ人々などの間で共感を呼び、2014年以降、数々のTV番組で紹介され話題となっている。2015年に「若年性アルツハイマーの母と生きる」を出版。

講演2

医療・介護職の立場から

「検査に携わる技師として必要なこと ～チームの一員として～」

講師

総合リハビリテーションセンター・みどり病院 放射線科
はし もと かおる
橋本 薫 先生



診療放射線技師(公益社団法人日本診療放射線技師会理事)で認知症ケア上級専門士、得意分野はIT。認知症高齢者対象の精神科病院で認知症患者の検査を数多く経験し、診療放射線技師の業務だけでなく、他職種とアクティビティケアやスタッフ教育に関わる。現在は新潟の総合リハビリテーションセンター・みどり病院(認知疾患医療センターあり)に勤務。時折、講師として、ボランティア養成研修(市の委託)、地域の勉強会や生協などの団体の研修、医療従事者向けの研修、スウェーデンのタクティールケア講座を行っている。

日時 2016年11月19日(土) 15:00～18:00

会場 島根県民会館 大ホール(第1会場)

〒690-0887 島根県松江市殿町158 TEL: 0852-22-5506

主催

公益社団法人 日本診療放射線技師会 中四国診療放射線技師会協議会
公益社団法人 日本放射線技術学会 中国・四国支部

後援

島根県
松江市

お問い合わせ 連絡先

〒690-8506 島根県松江市母衣町200番地
松江赤十字病院 放射線科部内 第12回中四国放射線医療技術フォーラム事務局
TEL : 0852-24-2111 E-mail : CSFRT2016@matsue.jrc.or.jp